

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）34

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43833

44.
5.
28

キツシシヤ一補佐官・曾根議員

3

万博

大蔵省
事務次官
官審審長
官審文会管給
総人簡厚計
国資長
領移長
参調析
参領旅移
参北東經
中西盤
参北北保
参西京洋
西惠
参審遊ア
次総経國万
参質統國
参政技二
国一理
参条協規
参政経科
軍社專
参道内外
文長

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA)22934
 69年5月29日00時15分 米 国 発 米北/
 69年5月29日13時38分 本 省 着

外務大臣殿 下田 大使 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ問題(ソネ議員とキシンジャー補さ官の会談)

第1657号 極秘 至急

1。目下当地来訪中のソネ議員は28日キシンジャー大統領補さ官と約30分通訳なして会談し、主としてオキナワ問題につき話合ったところ要点次のとおり(先方スナイダ一同席)。

(1) オキナワ問題については先ずソネ議員より(イ)核兵器は絶対必要か。また(ロ)自由使用の点はどうかと極めて短とう直入な形で質問したところ、キは(イ)については世の中には絶対必要というものはないことになり、絶対必要か否かという形の議論は不適當と思う旨述べ。また(ロ)についても何が自由使用かという問題もあるが自由使用よりも弾力的に考えたい旨答えた。

(2) 次いでソネ議員より、自分はオキナワについては2、3年以内に核ぬき本土なみの形で返かんすべきものと考えていたところ、これは今や日本国民の一致した要求とな

極秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

つており、近くアイナ外務大臣御訪米の際もその線で話し合いに臨まれると思う旨述べたところ、キは米側では日本の重要性及び日本におけるオキナワ問題の重要性を十分認識しており、本件問題を建設的に解決したいと考えているが日本側においても米側の立場も考慮する必要があるべき旨述べ、従来の経験上も日米間の問題は話し合いて合理的な解決ができることを期待している旨述べた。

(3) ソネ議員より、米国内の一部では日本がオキナワにつきかたくなな態度を固執すると米国は日本から手を引き南洋ぐん島まで撤退することになると述べる人があるが、そのような事態となれば先ず左よく勢力がよろこび、しかし次いで中国の核のきよういに対抗するための日本独自の核武装を主張する勢力がたいとうすることとなるべく、これは日米友好関係の観点からも極めてゆう慮すべきことである旨述べたところ、キは米国としては日本のMODERATE FORCESとの提携、協力関係を最も重視しており、かかるMODERATE FORCESが日本の中心を占めている以上御指摘の如き事態となるおそれは少ないと思う。米国としては一定の文書に署名をせざる一方的おしつけの解決をはかる意向はない旨強調した。またキはアジア問題については司席のスナイダーを全面的に信

極秘

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

頼しており、これに白紙委任を与えている等とも述べた。

(4) 最後にキがオキナワ基地は核兵器基地としてよりも通常兵器基地としての方が重要性が高い旨述べたことが注目された。

2. ソネ議員はその後邦人記者会見において上記ノ。(4)以外の点をほとんどそのまま説明した。これに対し記者団より種々質問があつたうち、先般トウゴウ・アメリカ局長及びアソウ議員が米側と会談した時の話に比し、米側はFLEXIBLEになつたという感じがするがどうかとの質問があり、これに対しソネ議員は必ずしもそうではなく、キシンジャーも現在核ぬき本土なみに同意するといっているのではない旨指摘した。また、それではGIVE AND TAKEということかと質問されたのに対し、もちろんそうである旨答え、かつオキナワに関する交渉はこれから本格的に始まるどころであり、現段階でその見通しをうんぬんするのは時期しよう早であり、政府だけでなく全国一致してしつかり対処することがかん要なる旨述べた。

3. なお本件記者会見の際、本28日のソネ、アソウ議員とローゼンフェルト、ワシントンポスト論説委員との会見内容につき、アソウ議員より、ローゼンフェルトは(イ)

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

米はオキナワ問題を極東政策全般の一かんとして考えるものと推測され、特にポスト・ヴィエトナムとオキナワ返かんがからみ合う可能性が大きく、ヴィエトナム戦終了後は基地の態様についても米の態度はRELAXすると思う(口)ニクソン大統領としては総理訪米までオキナワに関する方針を決めず、総理との会見でパーゲンをすべく、一たん方針を決めたら国内を説得して、あくまでもこれをつらぬこうとするであろうとの個人的意見を述べた旨説明した。